

東京都議会議員選挙(大田区選挙区)選挙公報

(定数7人)
東京都選挙管理委員会

ゆるぎない信念で 東京の未来をひらく！

政治の役割は、人に寄り添い、未来に責任を持つことです。そのために今日の物価高騰、景気後退という厳しい状況の中で、都民の皆様の生活を守り、仕事を支える都政を進めてまいります。また人口減少、少子高齢社会、担い手不足という静かな脅威をしっかりと受け止め、誰もが生活しやすく、持続可能な東京を実現してまいります。

東京再生への7つの政策

- ★ 若年世帯・子育て世帯を支える取り組みを推進します
- ★ 高齢世帯の健康で元かな暮らしを実現します
- ★ 限らない可能性を持つ子供たちが夢と希望の持てる東京を実現します
- ★ 学校に行きたくても行けない子供たちの心の叫びを受け止め、誰一人取り残さない多様な教育を実現します
- ★ 東京の活力の源である中小企業の経営、スタートアップの成長を支援します
- ★ 災害に強い東京を実現します
- ★ 環境先進都市・東京を実現します
- ★ 日本の伝統的家族と社会の存立を守る活動を、東京から進めてまいります

鈴木あきひろ プロフィール

昭和 37 年 8 月 21 日 大田区中央生まれ 池上育ち
久が原幼稚園/大田区立徳持小学校/大田区立蓮沼中学校/
都立雪谷高等学校/青山学院大学法学部卒
アフリカ・スーダンにおける国連支援活動にボランティアとして参加
☆妻と一男二女の5人家族・現在孫5人
大田区議会議員 2 期
平成 19 年 松原忠義前都議会議員の後継として
補欠選挙にて東京都議会議員 1 期目当選
平成 21 年 東京都議会議員 2 期目当選
平成 25 年 東京都議会議員 3 期目トップ当選
平成 29 年 東京都議会議員 4 期目当選
令和 5 年 都議補選にて5期目当選
都議会自民党幹事長、東京都監査委員等歴任

ゆるぎない信念
実行力



鈴木あきひろ

あなたの声で、都政改革！ 子どもは未来！本気の子育て支援

物価高の今こそ、都民の命と暮らし最優先の都政を！

子どもは未来！ 東京から本気の子育て支援

- 不登校対策として校内フリースクール、NPO、民間との連携で、その子の「今」に寄り添う学びの場をつくる！
- 小1の壁・朝の居場所支援・学童保育の待機児童解消、一時預かり相談窓口の創設
- 都立高校改革！偏差値偏重の教育から生きる力を育む多様な教育の推進
- 給付型奨学金制度をもっと使いやすく！

住まいは権利！ 安心できる住宅政策の充実を。

- 都内約81万戸の空き家を借り上げ住宅セーフティネットの拡充！
- 障がい者、高齢者の安心できる住まいの支援！

人生100年時代健康長寿東京へ

- 福祉・介護・医療を支える人材の育成と処遇改善「ケアを社会の真ん中に」
- 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる地域医療の拡充！

モノづくり世界一の都へ

- 優れた技術の活用で、ニーズとスタートアップをつなぐ世界のモノづくりハブの実現産業集積を守る！
- ものづくり人材の育成。工科高校改革、ものづくり教育の推進！

東京の歴史と文化・緑を守る！

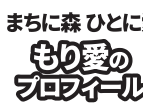
- 神宮外苑再開発を見直し銀杏並木を次の100年につなぐ
- 健康にも環境にも良い自転車のまちづくり「散走」

誰もが自分らしく、 多様性が輝く東京

- ジェンダー平等、LGBTQ差別解消、多文化共生
- DXの推進で高齢者も障がい者も家からも職場からも受けられる行政サービス

動物との共存社会の実現を！

- もっとドックラン！
- 生体販売の規制と譲渡会の支援・ペット避難所拡充で命を守る！



1977年5月30日生まれ、9歳の娘を育てるママ。専修大学経済学部国際経済学科卒。大田区議3期、東京都議2期。2016年、区議会現職議員として初出馬。子育てに当事者として向き合う中で直面する課題の制度改正に取り組んできた。大田区ふるさとの浜辺・海と祭りや銭湯(黒湯)こどもが大好き!!

区議3期・都議2期
18年の実績多数!
政策の詳細はこちら



もりあい 無所属

・平和福祉の厚生社会
・夫婦別姓の推進社会
・人間独立の自尊社会
・寄り添いの協力社会
・少子化対策に結婚手当
・持続可能な開発目標
SDGs 社会



原忠信

区民ファーストの会

東京の未来をひらく 確かな実現力！

～区民相談1万5千件 300を超える実績～ 公明党

かつまたさとしの約束

1 物価高を克服する

ひとりの声に寄り添い、
物価高から暮らしを守りぬく

- ・減税と給付で物価高に負けない経済対策を推進
- ・電気・ガス・水道代の支援とガソリンの値下げ
- ・東京アプリを活用し、1人10,000ポイントを付与

2 子どもたちの未来をひらく

進学をあきらめた悔しさが原点。

子どもたちが学びを諦めない社会をつくりたい。

- ・保育料・給食費・教材費・医療費の無償化で教育負担ゼロへ
- ・ネーティブ英語教育と姉妹都市交流の充実で世界を身近に
- ・奨学金返還支援や留学支援事業を大きく拡充。学生バスの導入

3 若者・現役世代を支える

苦労を重ねた若者・現役世代の『今』を支え
『安心の未来』を築きたい。

- ・現役世代の給料アップで年金も底上げする好循環をつくる
- ・若者や子育て世代に市場価格の6割住宅の提供
- ・氷河期世代などのセカンドキャリアの学び直し支援を拡充

4 命と暮らしを守る

25年の大学病院勤務経験から医療・福祉に全力。

そして、防災士として地域の安全を守る。

- ・健康寿命延伸の取り組みで医療費や保険料の負担軽減
- ・介護DXの導入で手続きを簡潔に。ビジネスケアを支援
- ・路面下調査を強化し危険箇所の迅速な補修で事故を未然に防ぐ



かつまたさとしの実績

- ▶ピロリ菌検査の無料化(20歳対象)
- ▶保育料・高校授業料の無償化、高3世代までの医療費無償化
- ▶帯状疱疹 肺炎球菌ワクチンの費用助成
- ▶シルバーバス販売額を4割軽減、IC化を推進
- ▶多摩川流域の水害対策、上沼部排水樋門に大型ポンプを設置
- ▶新空港線(蒲溝線)の整備推進

プロフィール

- 1963年大田区生まれ、区立大森第三小、区立大森第八中、都立蒲田高校(1期生)、神奈川大学第二経済学部卒業
- 東邦大学医療センター大森病院事務職、大田区議会議員4期を経て、2021年都議会議員に初当選
- 資格:防災士、上級救命技能認定
- 家族:妻、一男一男、愛犬(ナナ)

私たちが応援しています

作家	佐藤 優
夜回り先生	水谷 修
東京廃棄物事業協同組合 理事長	豊城 勇一
東京都建政政治連盟 大田支部長	飯村 康彦
東京療育連合会 会長	星野 二郎
城南地区廃棄物リサイクル協同組合 理事長	大野 三智雄
東京行政書士政治連盟 大田支部長	西坂 洋平
東京都知事	小池 百合子
大田区長	鈴木 晶雅
公明党 代表	斉藤 鉄夫



かつまた さとし

再生の道

「事業評価改革」から始めよう、日本再生の道

- 1 事業評価改革
- 2 質の高い公共サービスをより安く提供
- 3 浮いた予算を将来の投資へ全集中
- 4 東京から日本再生を始めよう

「事業評価改革」から始めよう、日本再生の道

私は、過去20年以上、一貫して公共サービスの質の向上と効率化を目的としたパブリック・プライベート・パートナーシップ(PPP) 事業にコンサルタントとして携わってきました。その中で、質の高い公共サービスを如何に低コストで提供するかをライフワークとして取り組んできました。又、過去10年以上、東南アジアで居住・仕事を行ってきた中で、アジア諸国躍進の一方で、日本の影響力低下を肌で感じ、危機感を持っておりました。その中で、石丸伸二代表の理念に感銘を受け、公共サービスの効率化の点から東京都の内部から貢献したいと立候補にいたしました。

プロフィール

アメリカの大学及び日本の大学院にて政治学・開発経済学を学んだ後に、東京設計事務所にてエコノミストとして、ロシア、ボスニアヘルツェゴビナ等で上下水道プロジェクトに従事。その後、PwCアドバイザリーにて、国内で導入が始まったばかりのPFI(PPPの一つ)事業にアドバイザーとして従事しました。同業務の中で、法務に係る知識の重要性を認識し、法科大学院に通いながら、PPPのコンサルタント会社を起業。同院終了後は、夢であったアジアでのPPP事業に従事するため、海外にてPPP実績のあるKRCに転職し、PPP事業のアドバイザーとして、インドネシアを始めとするアジア地域にて数多くのPPPプロジェクトの事業化に従事、3年前に再び起業し現在に至ります。



Youtube
チャンネル

私も応援しています!! 再生の道 代表 石丸伸二



山下こういち

再生の道 公認

都議会運営に『経営目線』で切り込む！

三菱商事 出身

世界で鍛えた交渉力と人間力

米国公認会計士

国際基準で都政の無駄を見抜く

中小企業診断士

地域企業に寄り添い支える

学生時代 体育会 アメフト部

戦略性×実行力×精神力

議案に対する私の判断基準――

- ① 民間でやれることは民間で
税金だけに頼らず、民の力と知恵を活かす都政へ
- ② 規制は強化するより緩和する
ルールで縛るより、可能性を広げる
- ③ 既得権益を守るより壊す
ひとつひとつの施策やコスト構造の透明性を高める
- ④ 短期的利益より長期的効果
効果の持続しないバラマキ施策ではなく、未来に繋がる施策を

私が推薦します 再生の道 代表 石丸伸二

商社で叩き上げ、海外で揉まれてきた。数字で事業を見抜く目は本物です。都政に必要なのは、「空気を読む人」ではなく「空気を変える人」。加藤さんは、明るさと行動力で、まわりを巻き込みながら突破していく力があります。政治屋だらけの東京に、ビジネス感覚と熱量を。彼なら、やってくれます。

加藤てつお YouTube
チャンネルはこちら▶

いいものはいい、ダメなものはダメ。

都議に必要なのは、派手なスローガンではなく「どう判断するか」です。私は、M&Aや事業経営を通じて、様々な事業の価値を見極め、未来につながる選択をしてきました。その経験から導き出したのが、上に掲げた「4つの判断基準」です。ひとつひとつの施策をこの判断基準で見極め、行政や政治家の都合ではなく、都民の立場からは是非を判断していきます。

たとえ一見賛同し難い政策に見えても、議論を重ねる中でこれらの基準に沿う内容に近づくのなら、迷わず賛成に回ります。

味方だから賛成、敵だから反対―― そんな政治ではなく、「いいものはいい、ダメなものはダメ」と言える都議会を私は取り戻します。



加藤てつお

再生の道 公認

51歳

(定数 7 人)

(この選挙公報は、東京都議会議員の選挙における選挙公報の発行に関する条例(昭和38年東京都条例第3号)第4条第1項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま製版の上掲載したものです。)

東京都議会議員選挙(大田区選挙区)選挙公報

(定数7人)

東京都選挙管理委員会

物価高と闘う! 命を守る!

- 危機を乗り越える積極的な減税・給付を
- 給料を引き上げ年金を底上げ
- 避難所環境、備蓄品をアップデート
- 高齢者の健康寿命を延ばし、医療費も抑制

1 道路陥没事故を未然に防ぐ!

- 区議会公明党と連携し、大田区内3,400か所の路面下の空洞を発見し、補修。
- 公明党の要望で、今後5年のサイクルで区道の調査を継続することが決定。
- 今後も公明党のネットワークで国道や都道、上下水道も調査・点検し、安全を守ります。

2 大田区の水害対策を推進!

- 多摩川・呑川など、河川の多い大田区の水害対策を推進。
- 道路の側溝の蓋を鉄格子に変える グレーチング化、土の置き場の設置を加速。
- 豪雨対策となる地下調節池の増設も進めます。

私たちも応援しています!

株式会社大田花子 代表取締役 磯村 信夫	東京都行政士会 大田支部 支部長 西坂 洋平	学芸作家 砂崎 知子	教育評論家 水谷 修	東京都知事 小池 百合子
東京都美容生活衛生同業組合 城南ブロック会長 横田 忠幸	東京都宅地建物取引業協会 大田支部 支部長 飯村 康彦	作家 佐藤 優	大田区民 鈴木 晶雅	公明党 代表 斉藤 鉄夫

プロフィール ●1968年12月4日東京都生まれ ●創価大学経済学部卒 ●IT関連会社勤務を経て、大田区議3期。現在は東京都議1期目 ●防災士 ●キックボクシング歴35年の経験を生かし、格闘技・スポーツ振興にも取り組む



たまがわ
玉川 雄二
公明党公認

値上げが止まらない暮らしにくい **インボイスは廃止**

今すぐ消費税5%に!
大企業・富裕層への減税見直して財源に 大軍拡より暮らし一番

「都民の声を届け、都政を動かす」と、2期・8年活動。ご意見や要望をメモにして心に刻み実現に力をつくしました。「都民が主人公」の都政へ、3期目に全力で挑戦します。ぜひあなたのご支援、ご支持をお願いいたします。

実現に力をつくします

- 暮らしと中小企業応援
 - 一人12万円の賃上げ助成
 - 公契約条例、単価切り下げストップ
- 子育て応援・住宅支援
 - 修学旅行・制服・通学定期無償化
 - 家賃補助・固定資産税軽減
- 年金引上げ・国保料引下げ
 - 国保料1人3万円値下げ、18歳未満無料に
- 希望ある未来へ憲法生かす
 - 男女賃金格差是正、選択的夫婦別姓を
 - 戦争・差別と分断のない世界、気候危機打開

みなさんの声で 実現しました

- シルバーバスの大幅値下げ
- 痴漢対策 ●理不尽な校則見直し
- 補聴器購入助成の拡充 ●学校給食無償化

医療危機打開へ 看護師として

提案 要請 重ね 321億円
民間病院助成実現
さらに、医療従事者の待遇改善に全力

みんな都政は変えます

犬ムダづかい
都庁に光・64億円 巨大噴水・26億円
蒲蒲線800mに900億円
裏金政治許しません
公式HP



日本共産党
藤田 りょうこ
ふじた

日本人ファースト! 未来へつなぐ東京

少子化、物価高、社会保障の危機。
全国最大の予算を活かし、子育て・教育・介護支援を拡充。
誰もが安心して暮らせる未来の東京を作ります!

- もがみが目指す **新たな都政**
- ✓ **個人都民税50%減税の実現**
生活の負担軽減、豊かに暮らせる東京へ
 - ✓ **子育て支援の強化**
専業主婦の子育て、教育環境の充実を推進
 - ✓ **安全な学校給食の実現**
子どもの健康を守るため、安心安全な有機農作物を導入
 - ✓ **食の安全保障体制の構築**
地方農産物を都が買い上げ、災害備蓄としても活用
 - ✓ **東京の食料自給率向上**
“食料自給率実質ゼロ”を改善
クーポン配布による都民支援も
 - ✓ **伝統と暮らしを守る**
火葬場・葬儀場の民営化などの外資参入を規制へ
 - ✓ **オーバーツーリズム対策**
観光客にインバウンド料金を導入
 - ✓ **インボイス廃止の提案**
都議会から国に向け、インボイス廃止を強く発信
 - ✓ **予防医療の推進**
薬やワクチンに依存しない治療
予防体制の強化

もがみ
プロフィール 1975年生まれ 千葉工業大学建築学科卒業/健康管理士検定1級/健康管理士一般指導員
第50回衆議院議員選挙・東京2区より出馬/現在、スクエア株式会社代表取締役
これまで20万人以上の食と健康を支援。地域に寄り添い、多くの人々と向き合う中で、都政の課題に気づき、政治を志しました。



参政党公認
もがみ よしのり
49歳

減税で所得を増やす

1.家計から始まる成長戦略
減税により都民の可処分所得を増やし、消費の拡大と企業活動の活性化を促進。税金を役所が使うのではなく、都民が自らの判断で使うことで、東京経済の好循環を生み出します。

2.都政のムダを徹底解消
「東京版DOGE構想」に基づき、全事業をゼロベースで見直し、肥大化した行政をスリム化。真に必要な事業へと予算を集中させ、効率的で機動力のある都政を実現します。

3.住み続けられる東京の実現
住宅取得・維持にかかる負担を軽減するため、不動産取得税・固定資産税の軽減措置を拡充。住まいの安心を支え、現役世代も高齢者も暮らし続けられる東京を目指します。

1987年7月3日、大阪府藤井寺市生まれ。神戸大学農学部卒業、神戸大学大学院修士課程修了後、総合商社の丸紅株式会社に入社。穀物油糧部に配属され、6年間勤務後、ベンチャー企業のアドバイザー等を務め、飲食店経営も経験。2020年7月の東京都議会議員補欠選挙に立候補するも惜敗、その後2021年7月の東京都議会議員選挙にて当選。
日本維新の会 代表 参議院議員 大田区議会議員 大田区議会議員 大田区議会議員
私たちが応援しています!! 吉村洋文 やながせ裕文 本多たかまさ 宮崎かずま 三沢清太郎



日本維新の会公認
松田 りゅうすけ
37歳

投票日 6月22日(日)
投票時間 午前7時から午後8時まで

仕事やレジャーなどで投票日に行けない方は、
期日前投票ができます。

期日前投票期間
6月14日(土)～6月21日(土)
午前8時30分から午後8時まで

期日前投票所 お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など
(期日前投票ができる日時は期日前投票所によって異なります。詳しくは、区市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。)

自治労問題という
誰も触れられなかった
タブーに切り込む!

- 3つの重点政策
- 1 労働組合に入りたくない地方公務員の権利を守る
 - 2 役所内で労働組合事務所を無償利用する特権廃止
 - 3 公務員の政治的行為の制限を設ける条例制定

自治労と自治労連から国民を守る党とは?

全日本自治団体労働組合(自治労)は、全国の地方公務員が加入する組織で、日本労働組合総連合会(連合)の主要組合です。また、日本自治体労働組合総連合(自治労連)は、全国労働組合連絡協議会(全労連)の主要組合です。大まかには、自治労は立憲民主党を支持する最大の組織、自治労連は日本共産党とのつながりがあります。
戦後、GHQの労働組合育成の方針により、全国の自治体で組成され、多くの労働組織と同じく分裂・再編をたどる中でも、組織からの国会議員を輩出し続け、議会や首長への政治的影響力を維持し続けてきたことが、行政を歪める根源になっていると考えられています。
これらの組織が及ぼす政治的影響を排除することで行政サービスを改善し、国民を守る目的で、自治労と自治労連から国民を守る党を創設いたしました。
詳しい問題点や政策、各種調査結果は右記二次元コードよりホームページをご覧ください。



日本共産党
党代表 参議院議員 **浜田 聡**



自治労と自治労連から国民を守る党公認
越智 寛之
ひろゆき

投票日 6月22日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで

仕事やレジャーなどで投票日に行けない方は、期日前投票ができます。

- ・ 期日前投票期間
6月14日(土)～6月21日(土) 午前8時30分から午後8時まで
- ・ 期日前投票所 お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など
(期日前投票ができる日時は期日前投票所によって異なります。詳しくは、区市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。)